



武蔵野美術大学

Musashino Art University

「美術大学」とは、どんな場所でしょう。みなさんのなかには「4年間絵ばかり描いていて、卒業後に苦勞する大学」だと思われる方がいるかもしれません。けれどそのイメージは、現実と大きく異なっています。造形活動においては、正解は簡単に得られません。美術大学の学生たちは、創作を通じて感性を磨き、表現力を高めていきます。同時に作品と向きあい、ものごとの見方に対する考えを深め、教養を身につけながら社会人としての基礎も固めていきます。武蔵野美術大学は造形学部11学科を擁し、日本を代表する美術大学として、これまで6万人の卒業生を世の中へ送り出してきました。その活躍の場は、アート・デザインの最前線だけでなく、幅広い領域に及んでいます。このパンフレットによって本学への理解を深め、高校生の進路選択における一助となれば幸いです。

絵を描くだけじゃない。 総合力のムサビ。

創立以来、教養を備え、人格的にも優れた造形各分野の専門家を掲げるムサビ。

それは、社会に資する人材の育成を目指すことでもあります。

ではなぜアートやデザインを学ぶことが、学生の可能性を上げていくのでしょうか。

▶ アートとは？ デザインとは？

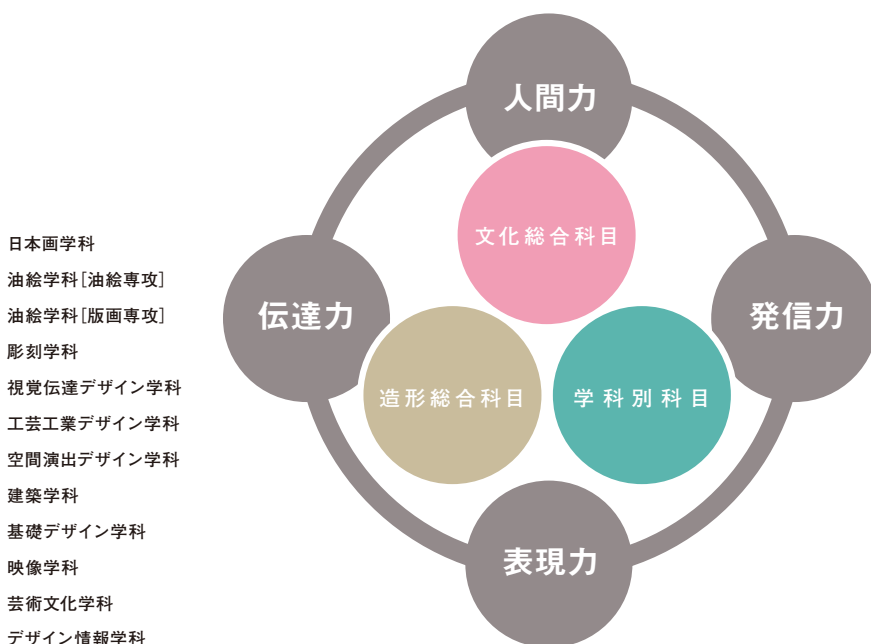
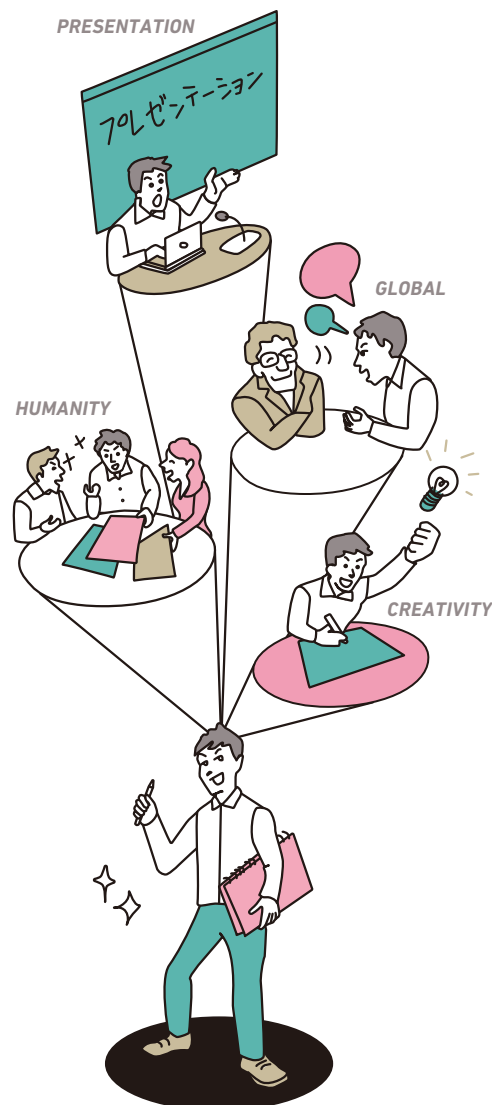
人々を感動させ、新しい価値を提供してくれるのがアートだとすれば、人々の暮らしを快適かつ豊かにするのがデザインの役割とも言えます。つまり、アーティストやデザイナーとは、「未来のカタチ」を創り出す者。想像力をカタチに変えるには、絶え間ない努力が必要です。このプロセスのなかで、感性や思考が磨かれ、深められていくのです。アートやデザインを学ぶということは、社会を生き抜く力を身につけるということです。

▶ そこで、美大とは？

美大生の進路というと、アーティスト、デザイナー、美術教員などをイメージされがちですが、実際には企業に就職する方も多くいます。この背景には、美大ならではの教育によって培われた感性、思考、表現力などが、「企画力」「プレゼンテーション能力」といった、社会のあらゆる場面で必要とされる力と直結しているという事実があります。有能な「個」の創造性が求められる時代。美大の社会的な役割の重要性は、高まっています。

▶ だからムサビは！

アートやデザインにおける表現、思考の在り方はもちろん、語学や哲学などの一般教養科目も重視しているのがムサビの特徴。また、自分の専攻以外の領域を学び、基礎力を高め専門的な視野を広げる必修科目「造形総合科目」も設けられています。このようなカリキュラムを経て、「人間力」「伝達力」「表現力」「発信力」という「総合力」を身につけ、社会人にとって必要不可欠となる幅広い知識と教養を備えた、新時代の人材育成に力を注いでいます。



ムサビで修得する4つの力

「文化総合科目」「造形総合科目」「学科別科目」がムサビのカリキュラムにおける3つの柱。これらをバランスよく学べば、社会で役立つ、下記4つの力を身につけることができます。

人間力 幅広い教養を備え、人格的にも優れた専門家の育成

伝達力 講評を重ねることで養うコミュニケーション能力

表現力 将来のフィールドを拡大する、専門性を軸とした表現力の醸成

発信力 語学力を土台とした、世界に通用する人材の養成

ムサビの
人間力

美術大学は
絵を描くだけじゃない！

たとえば…
[ムサビの一週間]

美術・デザインを中心とした専門科目と、語学や民俗学といった教養科目をバランスよく学べるのがムサビのカリキュラムの特徴です。1・3年次は午前中が専門科目(実技)、午後が教養科目(講義)で、2・4年次はこの逆になります。実践と理論の学びを組み合わせることで行為と思考の基盤を固めながら、着実に「人間力」を形成していきます。

週間カリキュラム例

	月	火	水	木	金	土
1	学科別科目・造形総合科目(集中授業)					
2						
3	西洋美術史 概論	民俗学	中級英語 (会話)	音楽	健康と 身体運動文化	中級英語 (リスニング)
4	文化人類学	哲学概論	図法・製図	メディア論	考古学	初級フランス語 (会話)
5	(サークル活動)			(課外活動など)		

ムサビの
表現力

おもしろいことを
さらに魅力的に見せる方法

たとえば…
[キャリアサポート体制]

クリエイティブ系の就職活動において、強く求められるものの一つが「表現力」。業界や企業によってもその内容は実に多様です。ムサビでは表現力の養成を特に重視。たとえば就職課では就職活動で使用するポートフォリオ(作品集)の指導会や展示会を通じ、ポートフォリオ作成の実践を重ねるなかで、社会に通用する表現力を磨いていきます。

ポートフォリオ例



ムサビの
伝達力

自分の考えを
自分の言葉で伝えるために

たとえば…
[実践的な学び]

ムサビでは各専門科目の授業最終週に「講評」を設けています。自分の作品を説明する一方で、他者からの批評にも耳を傾けながら対話を交わすため、高度なコミュニケーション能力が求められます。これを4年間繰り返すことにより、学生の「伝達力」は確実に高まっています。

年間カリキュラム例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2-3月			
入学式・オリエンテーション	学科別科目 1	学科別科目 2	学科別科目 3	造形総合科目	定期試験週間	夏季休業	学科別科目 4	造形総合科目	芸術祭活動	学科別科目 5	造形総合科目	冬季休業	定期試験週間
	講評	講評	講評	講評			講評	講評	講評	講評	講評		

ムサビの
発信力

目指すは世界、
それが当たりまえになる

たとえば…
[グローバル人材育成]

ムサビは2012年に文部科学省より「グローバル人材育成推進事業」の採択を受けました。これにともない、外国語によるプレゼンテーション能力の強化をはじめ、語学力を備えた人材の育成に力を注いでいます。個人の能力や創造性をどう活かしていくかが問われる昨今、本学で培った「発信力」は、世界にも通じる大きな武器となります。



ワークショップ風景



グローバル人材育成フォーラム

アーティストや デザイナーだけじゃない！

[業種・職種別就職状況]

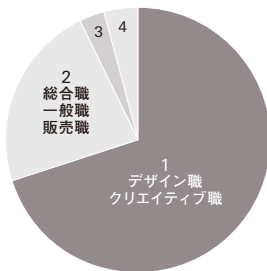
ムサビの卒業生は、美大ならではの専門性、クリエイティブ能力を活かし、マスコミ、広告、印刷、メーカー、建築、ゲーム、ファッション等、日本有数の企業で活躍しています。就職者の70%近くはデザイナーをはじめとしたクリエイティブ職に就いていますが、近年では、商品企画や総合職、教員や学芸員など、幅広い分野への進出が顕著になってきています。

卒業生の業種別就職状況



- 1 ファッション・展示・装飾
- 2 マスコミ・印刷・広告
- 3 製造業 (食品・文具など)
- 4 アニメ・CG・ゲーム
- 5 デザイン制作・造形・工芸
- 6 情報通信業
- 7 建築・インテリア・住宅
- 8 公共的事業
- 9 その他

職種別就職状況



- 1 デザイン職/クリエイティブ職
- 2 総合職/一般職/販売職
- 3 教員/公務員/学芸員/講師
- 4 その他

2012年度実績

もちろん、大手企業でも ムサビ生は大活躍！

[分野別就職状況]



ひと口に「クリエイティブ系」と言ってもさまざまな会社があるなかで、ムサビの卒業生は毎年のように、難関と言われる日本有数の企業に就職しています。上に掲げるのは2012年度卒業生の就職実績からの一部抜粋になりますが、これをご覧いただくだけでも、皆さんが一度は耳にしたことのある有名企業の名前が、多く含まれているのではないのでしょうか。

社会へ

在学中から学外の企業に触れ、 本格的な社会経験を積む

[社会で学ぶ]

「産官学」プロジェクトを通じて、製品開発や空間設計など、学生の幅広い視野と実践力を養える場を積極的に取り入れています。また、民間企業をはじめ、美術館ほか、さまざまな公共機関、団体が設けるインターンシップに参加し、就業体験はもちろん、地域の文化活動や環境保護といった社会貢献にも資する機会を多く提供しています。

学外とのコラボレーション

産官学共同プロジェクト

- ・アイズドリームプロジェクト | 赤城乳業 (株) + 視デ
- ・中央ラインモール | 東日本旅客鉄道 (株) + 建築

その他

- ・ミッドタウンをおどろかせろ | 赤城乳業 (株) + 視デ
- ・人権・アートプロジェクト | (株)電通 + 芸術文化

インターンシップ実績

川崎市民ミュージアム/キヤノン/シミズオクト/せたがや文化財団/ソニー/電通/丹青社/東芝/東北新社/トヨタ自動車/ニフティ/日本デザインセンター/博報堂アイ・スタジオ/パナソニック/東日本旅客鉄道 (JR 東日本)/本田技術研究所/文部科学省/ヤフー など



卒業生に聞く

学生時代の経験が作品の売り方を考えさせてくれた



御手洗絵里 Eri Mitarai

日本画学科
2010年度卒

松竹株式会社 映像本部
映像ライツ部 国内ライセンス室 営業課

就職活動の方向性を決めたきっかけは、2年次で参加したグループ展。値段を掲げる方針のギャラリーで誰も買わないだろうと気軽に値段をつけた作品が売れてしまい衝撃を受けました。絵画は、100円でも買わない人がいる一方で、大金を出して買う人がいます。自分の1点モノの作品を販売したことで、ビジネスとして成立している嗜好品への興味が膨らみました。そこで映画、出版、お菓子、お酒などを扱う企業への就職を希望。なかでも映画は、ク

リエイティブとビジネスを両立しているというイメージがありました。

私の配属先は、劇場公開が終わった映画の運用を考える部署。総合職なので、どんな仕事でも全力で取り組みつつ、徐々にやりたいことができればと考えています。まだまだ勉強不足ですが、さまざまな経験を経て、将来は映画製作の企画に携わりたいと思っています。

〔大学案内2014〕より再掲

Maujin MUSABI BRAND
卒業生の活躍をWebで公開中

www.maujin.com

こんなに変わった 子世代 vs 親世代

加速する時代とともに、人々の考えや価値観も変化し続けています。当然、社会に求められる理想的な人材像も大きく変化していることは、言うまでもありません。ここでは親世代と子世代の生きる時代を比較してみました。果たして、現代の親子には、時代によってどれだけ価値観の違いがあるのでしょうか。それぞれの世代に質問を投げかけてみました。

Q1

現在の趣味は？

プチプラコスメ集め、ダンス、LINE、写真

読書、映画鑑賞、ドライブ、ペットの飼育

Q2

大学に求めるものは？

他とは違う個性とか専門性のある大学がいいな。就職するとき、有利そうだし。留学も興味がある。

一流企業に就職しやすいという意味では、やっぱりネームバリューが大事なかな？

Q3

美大のイメージは？

デザインとか建築とかアニメ制作のスキルを学ぶところ。社会に出たとき、ものを作る方法を知っているのは結構役立ちそう。

芸術家を目指すような、特別な学生が集まる場所。一日中、絵を描いている感じ。

Q4

どんな職業につきたい？

アニメ映画の制作をしてみたい。それか、CMをつくる仕事。

第一志望はスチュワーデス。第二志望は銀行。第三志望は商社か証券会社がいいかも。

Q5

就職とは？理想の企業とは？

自分のやりたいことを仕事にしたい。経験や技術を積んでキャリアアップしていくのでもいいな。やっぱり、社員の個性を尊重してくれる企業が理想的。

一度就職したら、ずっとそこで働いてキャリアアップしていくのかな。でも会社に一生身を捧げるつもりはない。

Q6

社会に貢献する人材とは？

新しいアイデアや企画で、社会をいい方へ変えていける人。海外でも活躍できる人。

大企業に所属していて、大きな仕事で社会を動かしている人。大切なのは協調性かな。

Q7

理想の将来像は？

自分で人生を選択できるような知識や技術を身につけておきたい。もちろん、仕事も家庭も両立させることが前提で。

やっぱり、就職した企業から認められる存在になりたい。結婚して子供ができれば仕事は辞めるけど、復帰できたら嬉しい。

Q8

好きな映画は？

「ハチミツとクローバー」「パラダイス・キス」「ハリー・ポッター」「花より男子」

「インディ・ジョーンズ」「ダイ・ハード」「レインマン」「魔女の宅急便」

2014

1989

有効求人倍率

0.93

(平成25年/厚生労働省「職業安定業務統計」より)

武蔵野萌

Moe Musashino

1996年(平成8年)生まれ

有効求人倍率

1.40

(平成3年/厚生労働省統計表より)

武蔵野直美

Naomi Musashino

1968年(昭和43年)生まれ

個性が重視される子世代

企業は日本国内だけでなく、海外で活躍できる人材を求める傾向が強まっています。また、キャリアアップや転職に対する考え方も変わり、社会は個性を活かした高度な専門性を有する人材を欲しています。男女を問わず、未来を生き抜く武器となるのは創造性や発想力、そして表現力ではないでしょうか。こうした時代背景から近年、美大の注目度は高まりつつあります。

企業を選べた親世代

バブル期最盛の売り手市場のなかで、学生たちは複数の内定をとることも珍しくありませんでした。多くの企業にはまだ終身雇用制度が残っていたため、働く社員の緊張感も決して高くはないといった風潮があったようです。しかし、バブル崩壊後に始まったリストラにより、労働力の価値が大きく変化すると、就職への意識は徐々に安定志向へと移っていったのではなかったでしょうか。



学費

	前期分（入学手続時）	後期分（9月）
入学金（入学時のみ）	360,000円	—
授業料	592,500円	592,500円
実習費（学科により異なる）	14,750～32,750円	14,750～32,750円
維持費	15,000円	15,000円
施設費	150,000円	150,000円
合計	1,132,250～1,150,250円	772,250～790,250円
年間合計		1,904,500円～1,940,500円 (2年次以降 1,544,500円～1,580,500円)



奨学金制度

武蔵野美術大学奨学金（贈与）は、本学独自の奨学金制度です。経済的な理由による修学困難な学生のなかから、人物、学力に優れた学生を対象に募集します。日本学生支援機構など、他の奨学金を受給中でも出願可能です。

奨学制度	種別	対象	奨学期間	金額／採用者数	募集時期	採用時期	2012年度実績		
							学年	出願者数	採用者数
武蔵野美術大学奨学金	贈与	人物、学力に優れ、経済的に修学困難な学生	1年間 (再申請可)	592,500円	4月	7月	1年	210名	55名
							2年	153名	38名
							3年	102名	37名
							4年	106名	49名
				300,000円			大学院	43名	21名
							計	614名	200名

※武蔵野美術大学では上記の他にも「80周年記念大学院修士課程奨励奨学金」など、大学独自の奨学金制度（贈与型）を設けています。また、家計を支えている人の失業・死亡、火災、水害、震災などの不慮の災害・事故によって家計が急変し、学業の継続が難しくなった場合には、定期的な奨学金の採用とは別に、応急採用も行っています。その他に、日本学生支援機構奨学金制度（貸与型）なども導入しています。詳しくは大学Webサイト（学生生活・就職>奨学金制度）をご確認ください。なお、奨学金制度のほか、平成27年度から経済的な理由で修学の継続が困難な学生を対象に、半期授業料の3割（177,750円）を減免する制度を実施します。この制度は家計状況のみを選考条件としている制度で、採用枠は造形学部および大学院修士課程で220名を予定しています。



住居サポート

武蔵野美術大学学生寮

2014年4月、大学近郊に交換留学生および女子学生専用の学生寮を開設しました。朝・夕2食付で寮長・寮母が常駐しているため、安心してご入居いただけます。また、寮内にはアトリエールームを完備し、学びに集中できる環境を整えています。1Fは交換留学生、2F以上は女子学生のフロアになります。
※交換留学生以外の募集は、女子のみにになります。

※武蔵野美術大学に通学する学生のうちの約5割は一人暮らしをしています（2011年度「学生実態調査」）。大学から少し離れて国分寺（JR中央線）などから通う学生もいますが、多くは鷹の台や小川（共に西武国分寺線）、新小平（JR総武線）などの大学周辺を下宿先としています。大学周辺の賃貸物件の家賃は設備や間取りによっても異なりますが、約3万円～5万円で、平均すると4万円程度となっています。これらの賃貸物件に関する情報は学生生活課でも一部紹介しています。



入試

武蔵野美術大学では、「自らの目指す専門性を着実かつ大胆に深化、開拓しようとする人」「専門性を支える幅の広い造形力や教養を身に付けようとする人」「文化の創造発展に寄与し、国際社会で活躍しようとする人」、以上の3点をアドミッションポリシーに掲げ、未来に可能性のある学生を求めています。

一般入学試験

一般方式 | 国語・外国語＋学科別専門試験*

一般方式の国語・外国語については、全学科・専攻で共通であり、A日程・B日程のどちらか、あるいは両日の受験が可能です。両日とも受験した場合は、国語・外国語それぞれ得点の高い方を合否判定に使用します（検定料は変わりません）。

センターA方式 | 指定センター試験科目＋学科別専門試験*

センターA方式は、本学が指定する大学入試センター試験科目の結果を利用し、専門試験（一般方式と共通）のみを本学で受験する制度です。同一学科・専攻を一般方式・センターA方式で併願可能なので、チャンスが広がります。

センターB方式 | 指定センター試験科目のみ

センターB方式は、本学が指定する大学入試センター試験科目の結果のみを利用する制度で、本学で専門試験を受験する必要はありません。建築学科・基礎デザイン学科・映像学科・芸術文化学科・デザイン情報学科で実施します。

推薦寮（企業提携）

本学と業務提携を結んだ企業からの推薦寮をご用意しています。栄養バランスを考えた朝・夕2食付の推薦寮（2件）と、自炊タイプのシェアハウス（1件）があります。いずれも通学に便利な場所に立地しています。

家賃補助

一定の条件を満たした方に年額60,000円（半期分を9月と3月に給付）を給付する家賃補助制度を設けています。

公募制推薦

日本画学科、油絵学科、彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、映像学科、芸術文化学科、デザイン情報学科の10学科では、公募制推薦入試を実施しています。
面接を通じて、受験生の特性を重視した選考を行います。

※「学科別専門試験」とは、鉛筆デッサンやデザイン（平面構成）、油絵といった伝統的な科目のほか、造形表現テスト、感覚テストなどといった発想力や考える力を重視する科目、数学や小論文といった学科学目など、11学科それぞれの特色に応じた専門試験を実施しています。選択する入試の方式によっては、建築学科、基礎デザイン学科、映像学科、芸術文化学科、デザイン情報学科など多くの学科で、デッサンをはじめとした実技科目を選択しなくても入試を受けることができます。

武蔵野美術大学

お問い合わせ・願書請求先 | 広報入学センター

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 TEL.042-342-6995 <http://www.musabi.ac.jp/>